

早島町 議会だより

令和2年 第68号
6月1日



Contents

意見書を全会一致で可決	2 P
令和2年度予算、くらしどうなる...	4 ~ 7 P
町民の皆さんとの意見交換会	8 ~ 9 P
子ども議会を開催	10 P
ここが聞きたい！一般質問	11 ~ 20 P
議会モニター大募集！	22 P

今年から小学一年生、がんばろうね！

令和2年3月議会報告 不祥事対応に係る意見書 全会一致で可決

3月定例会は3日から18日までの16日間の会期で開催されました。

議会初日に、発議『中川真寿男町長の不祥事対応についての意見書』が佐藤博文議員より提出され、議会は全会一致で可決。相次ぐ不祥事に対して責任ある対応を求めました。

また、3月定例会では山本哲也副町長を選任するとともに、令和2年度当初予算、条例改正など計34議案が審議され、一般会計予算に対する付帯決議が採択され、他33議案については全会一致で原案どおり可決されました。

◆会計年度任用職員制度はじまる

国の法改正に伴い、従来の「非常勤職員」が、会計年度任用職員に移行するもの。同制度移行の職員は143名。期末勤勉手当等も支給されることから、国から交付税として補填されるものの、約4000万円の人件費支出の増額を見込む。

◆一般会計補正予算

▼小・中学校校内LANの整備等、3978万6千円を追加。

◆条例改正

- ▼観光センターの指定管理を可能にするための条例改正
- ▼留守家庭児童会おやつ代が保育料と併せた振り込みにする条例改正
- ▼国民健康保険税の子どもの「均等割」の半額減免を行う条例改正

◆その他の議案

- ▼いかしの舎指定管理者の指定(株)キツカワ
- ▼地域福祉センター指定管理者の指定社会福祉法人早島町社会福祉協議会

◆人事案件

- 副町長の選任(新任)
山本 哲也氏
- 監査委員の選任(再任)
守谷 勝氏
- 人権擁護委員候補者の推薦(再任)
日笠 清氏
- 教育委員の選任(再任)
綾野 克紀氏



観光センターを指定管理委託に

【総務厚生常任委員会】

議案審議の主なもの

観光センター条例の一部改正について

提案理由

管理運営を指定管理者に行わすために改正する必要がある。

Q：指定管理者にする目的は。

A：指定管理委託に任せて、潜在的な活用方法について民間の力を借りて観光センターの一層の活用を図る。

今後の手続きは、9月の議会に指定管理者候補の提案をしたと思う。開館時間等は、住宅環境を考慮する。

一般会計補正予算について

Q：小浜地内蔵再生事業の予算未消化について。

A：昨年の予算委員会での附帯決議に目的・用途を定めるようにあるが、まとめきれっていない。

Q：庁舎裏の駐車場はいつ舗装するのか。

A：土砂の搬入は終了。土壌が落

ち着くのを待つてからと考えている。

全会一致で可決

総務厚生常任委員会に付託された19議案については全会一致で可決すべきものと決した。



寄贈された小浜地内の蔵

請願・陳情

厚生労働省による「地域医療構想」推進のための公立・公的病院の「再編・統合」に抗議し、地域医療の拡充を求める請願書

【採択】

いかしの舎が新たな指定管理者となり 今後の事業が期待される

【建設文教常任委員会】

議案審議の主なもの

早島町公共下水道条例の一部を改正する条例について

Q：この改正により流通団地処理

区の料金はどうなるか。

A：少し安くなる。

早島町いかしの舎の指定管理者の指定について

Q：指定管理者の管理業務は増えるのか。

A：今までとかわらない。

Q：夜間営業、店内調理を行いたいとのことだが。

A：決まった後に指定管理者と相談する、夜間営業についても協議しながら進める。

Q：厨房等、改修の場合費用は。

A：指定管理者がすることとなっている。

一般会計補正予算について

Q：緑り越し明許費補正の農業用施設整備費は何か。

A：大川樋門の工事に伴う事後調査費、二間川の水路の工事費。

Q：大川樋門の整備により関係水

位はどのようになるのか。

A：工事が終わったばかりなので今後示していく。

Q：教育総務費の委託料は何か。

A：小、中学校の校内LANの工事関係費。

Q：小、中学校は個別に入札をするのか。

A：同じ業者で指名競争入札にて実施する。

Q：設計と工事は同一業者になるのか。

A：同一業者になる。

全会一致で可決

建設文教常任委員会に付託された6議案については全会一致で可決すべきものと決した。



タブレット授業を支える校内無線LAN

可決

予算総額 89億円

町民の「くらし」「どうなる？」

3日間にわたる予算審査

3月定例会において、3日にわたる予算審査特別委員会を実施。令和2年度予算が可決した。また新年度予算に対する付帯決議が提出され、併せて賛成多数で採択。一般会計は51億1700万円となり、過去2番目の規模となる予算となった。(議会が注目する主な予算は6・7頁)



当局に政策要望

議会では令和2年度の予算編成にあたり『政策要望』を提出し、町長に新年度予算に反映されることを求めました。

◆行政組織に関する要望

- ① 町民に対しわかりやすい予算説明書の配布
- ② 町職員の超過勤務の削減と資質向上



- ▼ 慢性的な超過勤務の削減に向けた数値目標を持つこと
- ▼ 必要な職員の増員、業務の標準化、効率化
- ▼ 職員の資質向上にかかる研修の推進

◆防災対策に関する要望

- ▼ 避難所、一時待避所の充実
- ▼ 地域の自主防災組織等と協働した、避難所、一時待避所の安全確保、設備の充実

◆監査委員報酬に関する要望

監査能力の向上を図るため、監査

委員報酬の引き上げ

◆高齢者福祉政策等に関する要望

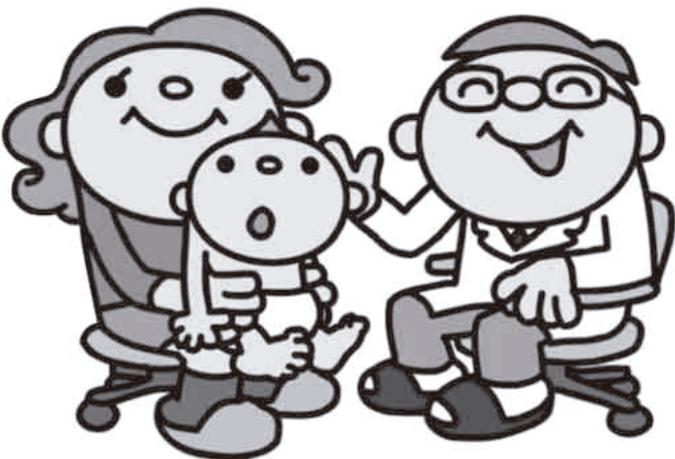
- ① 人間ドックに関する費用助成の拡充
- ② 認知症が懸念される高齢者に対する診断費用の助成

◆児童福祉政策に関する要望

待機児解消・保育士処遇改善のための事業の充実

◆道路・水路整備に関する要望

- ① 道路維持のための早急な修繕
- ② 排水・防災のためにも農業振興地域内の主要水路整備



一般会計予算は付帯決議を採択

一般会計予算に対する 付帯決議

- ① 駅のバリアフリー化について
住民要求も強く、実現に向けて鋭意取り組まれない。なお、駅周辺計画について町民への説明や意見の聞き取りを行うこと。駅を含む街づくりや今後の資金計画及び事業計画について議会と協議をすすめていくこと。
- ② 事業の見直しについて
事業の実施にあたっては年限を定め、定期的な事業の見直しを実施すること。

※付帯決議とは？

国会や地方議会において、議決された法案・予算案に関して付される、施行についての意見や希望などを表明する決議です。法律的な拘束力を有するものではないが、議会と町長等の信頼関係において、町長等はこれを尊重することを議会として求めるもの。



【その他に審議された予算】

- 国民健康保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険特別会計（保険事業勘定）
- 介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）
- 公共下水道事業特別会計
- 水道事業特別会計

討論

令和2年度一般会計予算について

反対 佐藤辰美 議員…（早島駅の）バリアフリー化と、それから（証明書等の）コンビニ交付事業について反対だ。なので予算に対して反対する。

令和2年度一般会計予算に対する付帯決議について

反対 平岡 守 議員…町民への説明や駅を含むまちづくりなどの内容については委員会でも当局は約束をしたものと思う。町と議会の信頼関係において、付帯決議をわざわざ出す必要性はないと考える。

賛成 古田敬司 議員…町の将来に向けて駅を中心とした大きな事業だ。無条件に通すものではなく、その一歩を進めるためにも町民への説明、意見を聞く中でグラウンドデザイン、行程表を議会に提示し、協議を進めることを求める付帯決議であるから賛成だ。

3月定例会 採決状況

○賛成 ×反対 議長（船越健一）は採決に加わらない。

議案	平岡 守	古田 敬司	佐藤 智広	真鍋 和崇	細田 貴道	佐藤 辰美	林 郁夫	根木 一	佐藤 博文	議決結果 (賛成：反対)
議案第27号 令和2年度早島町一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決 (8:1)
発議第2号 令和2年度早島町一般会計予算に対する付帯決議	×	○	×	○	○	○	○	×	○	可決 (6:3)

他、議案は全会一致で可決。



ここに注目！

ハード事業

早島駅バリアフリー化 どうなってる？

計画策定を継続、調査測量を実施。

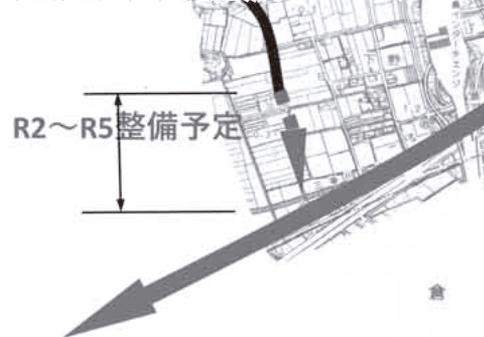
住民要求の高い早島駅のバリアフリー化事業。

現在議会には国の『地方創生拠点立地交付金』を活用し、駅をふくめた複合施設の建設計画が提示されています。今年度は計画の策定を継続して行うとともに、調査・測量に1540万円を投入。

今後、駅をふくむ町全体のまちづくりや財政計画を示し、町民に対し丁寧な説明と意見聴取が必要です。



町道1号線改良工事すすむ 通過車両軽減にむけて 下野地内1億4800万円



継続的に工事が実施されている町道1号線新設改良工事。山陽新聞社東側から南へ、県道倉敷・妹尾線の消防署東出張所付近に接続する予定です。

住宅地域への通過車両軽減策として環状線道路網の構築を目指しています。

日笠山入口の交差点改良は早急に

令和元年度補正予算で設計を実施している日笠山団地入口の交差点改良事業。2年度予算案に含まれていなかったことに対し「実施するとこれまで答弁していた。保育園もある。危険性を認識し、早急に対応を」と議会として要望。

これを受け執行部は「早期予算化し対応する」との答弁を行いました。



どう使う？
ことしの予算。
総額86億2444万円

議会はコ

ソフト事業

スマホ「防災無線が聞こえにくい」という方へ 防災無線放送受信アプリの導入

防災無線から流れる音声をスマートフォンが同時に受信し、聞きとれるアプリケーションを導入。導入経費として225万5000円を予算化しました。

これまで「防災無線が聞き取りづらい」という町民からの要望に応え導入する。災害時等で迅速な情報伝達を行う手段のひとつとして活用が期待されます。



職員の超過勤務。事業・人員配置 の見直しを



今年度約10%の超過勤務の削減を目標に総額3556万1000円が予算化されていますが、議員からは「10%削減の根拠となる業務量の削減や人員配置の見直し等を示されたい」「休日出勤による代休の取得や有給休暇の取得も行えるような業務配置を行うべきだ」等の意見が出されました。

管理職も含めた長時間勤務の縮減にむけて、町長の責任において業務分担や人員配置の見直しを行われるよう求めるものです。

証明書等 コンビニ交付 賛否分かれる

コンビニ等でマイナンバーカードがあれば住民票等の証明書の交付ができるものです。平成29年度から実施。

導入には約850万円。今年度維持管理に約370万円を見込み、議員からは「狭い町域では適当でない」「費用対効果が得られない」等の見直しを求める意見の一方で、「国の補助を受けており、撤退は慎重に考えるべき」「マイナンバーカード普及の手段」等の意見もあり、賛否が分かれました。

国保子どもの均等割半額に

国保加入者の子育て世代の負担軽減策として、満18歳未満の子どもに係る均等割の減免を行う。減額見込み額は、年間をとおして加入した場合、軽減なし世帯で1人当たり1万9000円となります。

待機児解消、保育士確保のために 保育士処遇改善助成 年6万円に

保育士確保による待機児童解消を目的に、これまで年3万円だった保育士等助成金を6万円に引きあげる。

対象人数は保育士等約90人、541万2000円を見込む。



公共交通・福祉
タクシーについて



賛成

佐藤 昭広 議員

平成30年度一般会計
決算の不認定

反対



議会活性化特別委員会の開設

会との意見交換会

若宮、前潟自治会で開催

議会は2月12日に若宮団地内の大谷荘・喜楽亭、22日に前潟公民館において、令和元年度「町民の皆さんとの意見交換会」を開催。

昨年度は各団体と意見交換を行いました。今年度は町内各地域での意見交換会を企画しました。

冒頭、議会を代表し船越議長のあいさつ、真鍋副議長から現在議会で議論されている課題などについて報告を実施。

◆意見交換会

その後、参加者の皆さんとの活発な意見交換が行われ



若宮のサロン(喜楽亭)での意見交換



前潟公民館での意見交換会

れ、地域の身近な要望から、町の将来的なまちづくりについて、議会改革や不祥事対応にいたるまで様々な意見が出されました。いただいたご意見の主なものについて本号で紹介いたします。

令和2年度は状況をみながら検討

元年度は3月に矢尾地区および保幼小中連絡協議会との意見交換を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、中止。2年度については感染症拡大の状況をふまえて検討しています。

新駅舎建設への取組



- 予算の付帯決議
- 議員間討議（懸案事項について議員間での事前協議）
- 令和2年度予算編成に伴う政策提言書の提出

議会にいただいた主な質問・意見とその回答

Q..都市計画道路路駅前バイパス線の進捗状況はどうなっているか。国道2号線のアンケートが来たが。

A..町としては都市計画道路県道早島松島線の完成後に着工を求めています。見通しは不透明です。

町は国道2号線の渋滞解消を求めており、知事を会長とする期成会に加わりアンケートに取り組んでいる。

Q..高齢者が行方不明になった際の無線が反響し全く聞き取れなかった。点検を実施してほしい。

A..放送の仕方の改善や点

検等を求めてまいります。

町では建物内でも聞き取れるよう防災無線放送をスマートフォンで受け取れる受信アプリの導入を予定しています。（詳細は7頁を参照してください）

◆魅力あるまちづくり

Q..新しい住宅が増えていますが、人口が急増してしまえば、保育園や小学校も足りなくなる。「増やせばいい」というものではない。住んでいる人が魅力を感じられるまちづくりを。

議と皆さんの皆

A..今年には総合計画策定の年です。計画的な街づくりを町執行部とともに考えていきたいと思えます。

◆若宮団地前の渋滞緩和

Q..若宮団地前の県道（県道吉備線）が非常に混雑し、2号線に合流するのにかかる時間がかかる。

A..2号線の渋滞解消にむけ現在国が事業化をすすめています。あわせて県道の渋滞解消に向けて町と一緒に粘り強く交渉してまいります。

Q..町北部の団地で高齢化し、付近にも商店を。

A..町は北部にも積極的にスーパードライ等立地誘導をはかるといった答弁を行っています。また社会福祉協議会が地域ボランティアのご協力で移動スーパードライを呼び多くの方から歓迎をされているところですよ。

Q..若宮団地内の町道が抜け道になっている。三叉路に「止まれ」「徐行」の表示を

A..実現に向けて努力します。

Q..すずめ池公園に遊具が欲しい。安全な遊具が欲しい。

A..ぜひ総合的に町内全体の遊具整備を求めてまいります。

Q..観光センターの今後はどのように考えているのか。
A..現在は直営で運営をしています。民間団体への指定管理を予定しています。民間の力を活かして観光センターの再生を期待しています。

Q..公金の取り扱いで不祥事が多発している。

A..公金取り扱いマニュアルの徹底を引き続き求めてまいります。

Q..不祥事の連続をどのようにに解決していくのか。議会は緊張感をもって対応をされたい。

A..議会でも不祥事問題を取り上げ、町民の皆さんの要望を届けてきました。研修の実施と管理責任を求めていきます。

子どもたちの鋭い提案や要望

子ども議会を開催



令和2年1月25日(土) 恒例行事となった『早島町子ども議会』が開催されました。

大人顔負けの答弁

我々議員の代表からの『ゲーム依存症』についての考えや対策という質問に対して、ゲーム依存症による弊害について述べ、その対応策として、リミットスクリーン(夜9時以降の使用中止や時間制

限)等、大人顔負けのロジカル(論理的)な答弁がなされました。

思いもかけぬ提案

更に、駅のバリアフリー化に伴う、駅舎整備についての質問には、議会でも議論されていること以外にも『ホームドア』の設置をしたら

どうかという、思いもかけぬ提案まで出されました。

ワクワクする学校生活

そして最後の『ワクワクするよな学校にするために、どんなものがあれば良いか?』という質問に対しては、北校舎の屋根の新設や教室のロッカーの増設など、利用者目線での施設改修。更にさらに、大好きな給食については『デザートやおかずを数種類から選べるセレクト給食やバイキング給食を!』そんな素晴らしい意見も出

てきました。なるほど、これなら学校生活もワクワクすること間違いなしですね。(笑)

町の将来を担う子どもたちの夢や希望を織り交ぜながら、町政に対して素晴らしい提案や質問を交わすことのできた有意義な時間となりました。

今回の『子ども議会』でもらった、貴重な子ども視点からの提案や質問を反故にすることなく、町政運営に反映していきたいと、改めて思いました。

新しい副町長が就任

この度町議会のご同意をいただき、4月1日付で副町長を拝命しました。中川町長を補佐し、早島町の発展のために努力してまいります。

世の中が新型コロナウイルスの脅威に揺れる一方、例年よりも早く



山本 哲也 副町長

満開を迎えた桜の美しさを愛でる。そのような中、着任しました。私は、これまで38年間岡山県

職員として地方行政に携わり、様々な分野の仕事を経験する中で、政治や行政の基本は住民の命を守ることにあり、そして皆様の幸せを築くことであると考えています。それを象徴するような春となりました。

早島町で働くのは初めてです。町のことも、町民の皆様の声も、職員とのコミュニケーションも一から勉強し、積み上げていかなければなりません。私が、明るくそして『斃れて後己む』の精神で、皆様から早島に生まれてよかった、住んでよかったと思っただけのまちづくりの一端を担えるように頑張りたいと思いますので、ご支援のほどよろしくお願いたします。

質一般



船越健一 議員

問 駅のバリアフリー化は最優先か 答 優先順位をつけて進めていく



バリアフリー化は最優先か

問 私は持続可能な地域づくりとか将来を見据えて今すべきこと、そして身近な地域の問題は駅のバリアフリー化以外にも他にあると思う。多くの町民もそのように思っている人もかなり多いと思う。町民の希望する事業は駅のバリアフリー化が私は最優先とは思っていない。買い

物難民のためのスパーの誘致や児童館高齡者対策など数多くあると思う。

答 総務課長 総額10億9千万。
問 早島町では清掃業務やごみ処理業務を民間委託している。正規職員と臨時職員の割合や人件費などもっと検討する必要があると思うがいかがか。

カードを増やすツールとしてコンビニ交付を始めたと思うが他に検討はしたのか。
答 町長 国の方向性を見定めていた。
問 マイナンバーカードを増やす方法として保育園児や幼稚園児の到着の際のカードキーにする方法でも使えるなどあると思うが、検討はしたのか。

定員の適正化計画について

問 定員適正化計画はできているか。定員適正化計画とは職員数について基本方針、目標、取り組み内容を定めた複数年度にわたる計画のことである。正規職員と臨時職員の割合はどうなっているのか。

答 総務課長 現在正規職員98名、臨時職員140名、割合としては2対3の割合である。

問 事務事業の見直しはできているのか。
答 町長 業務量と人員配置のバランス、組織の設置は研究し、弾力的な組織運営については検討する。

問 コンビニでの住民票交付はどのようなプロセスで進められたのか。
答 町長 国の政策として進めていった。マイナンバー

問 事務事業の見直しはできているのか。
答 町長 業務量と人員配置のバランス、組織の設置は研究し、弾力的な組織運営については検討する。

問 コンビニでの住民票交付はどのようなプロセスで進められたのか。
答 町長 国の政策として進めていった。マイナンバー

問 組織機構の見直しは進めているのか。
答 町長 子育てについては一元化している。考えている。

問 正規職員と臨時職員の割合はどうなっているのか。
答 総務課長 現在正規職員98名、臨時職員140名、割合としては2対3の割合である。

問 コンビニでの住民票交付はどのようなプロセスで進められたのか。
答 町長 国の政策として進めていった。マイナンバー

問 組織機構の見直しは進めているのか。
答 町長 子育てについては一元化している。考えている。

問 正規職員と臨時職員の割合はどうなっているのか。
答 総務課長 現在正規職員98名、臨時職員140名、割合としては2対3の割合である。

問 コンビニでの住民票交付はどのようなプロセスで進められたのか。
答 町長 国の政策として進めていった。マイナンバー

問 組織機構の見直しは進めているのか。
答 町長 子育てについては一元化している。考えている。

問 正規職員と臨時職員の割合はどうなっているのか。
答 総務課長 現在正規職員98名、臨時職員140名、割合としては2対3の割合である。

問 コンビニでの住民票交付はどのようなプロセスで進められたのか。
答 町長 国の政策として進めていった。マイナンバー

問 組織機構の見直しは進めているのか。
答 町長 子育てについては一元化している。考えている。



スマホアプリで防災無線が聞ける



佐藤博文 議員

問 防災無線の聞きづらさの対応と対策は
答 防災無線放送を個人のスマホでも聞けるよう準備

問 屋外の防災無線放送が個人のスマホで聞けるようになると聞いたが。

答 町長 屋外スピーカーへの音声発信と同時にスマートフォン向けにも音声発信できるように調整している。情報伝達に高い効果をもたらす。

問 「駅南の農振地域の見直しについて」

答 町長 農地中間管理機構を活用して用水等の基盤整備を早急にする必要があるのでは。

問 「観光センター施設の効率的かつ効果的な運営について」

答 町長 観光センターの潜在している多様な活用方法を引き出すために、民間の手法・能力による指定管理者制度の導入が必要であると考えている。

問 「コミュニティバスの運行見直しを含めた改善対策の進捗状況は」

答 町長 今後とも住民の方が安心して受診できるように、地域貢献事業の積極的な利用や地域包括ケアシステムの構築に向け一層連携を密にしていきたい。

問 駅舎建設にあたって児童館・駅南改札口も併設すると聞いたが。

答 町長 南口の開設、エレベーター及び自由通路の設置にJR西日本の同意が得られた。児童館機能を含めた駅の複合拠点化を見極めて進めていきたい。

問 条例改正に伴う観光センター施設の効率的かつ効果的な運営について。

答 町長 観光センターの潜在している多様な活用方法を引き出すために、民間の手法・能力による指定管理者制度の導入が必要であると考えている。

問 南岡山医療センターの再編問題について

答 町長 高齢者をはじめとする交通弱者の立場に立つてバスを降りるときは自由とするフリー降車を検討している。

らせるように年内には導入する。

「児童館・駅南改札口の併設」について

問 駅舎建設にあたって児童館・駅南改札口も併設すると聞いたが。

答 町長 南口の開設、エレベーター及び自由通路の設置にJR西日本の同意が得られた。児童館機能を含めた駅の複合拠点化を見極めて進めていきたい。

「観光センター施設の効率的かつ効果的な運営について」

問 条例改正に伴う観光センター施設の効率的かつ効果的な運営について。

答 町長 観光センターの潜在している多様な活用方法を引き出すために、民間の手法・能力による指定管理者制度の導入が必要であると考えている。

て10年になるが「町民の足」としてのさらなる運行見直し等を含めた改善対策は。

答 町長 高齢者をはじめとする交通弱者の立場に立つてバスを降りるときは自由とするフリー降車を検討している。

問 日笠山団地交差点の整備工事着手は

答 令和2年度に工事着手する



林 郁夫 議員

問 以前一般質問した時に、町長は危険性、緊急性について理解し、議会は測量、設計に関する予算を議決した。その後、関係機関との協議も整っていたが、予算が未計上であったため、再度、一般質問する予定だった。しかし、先日の予算審査特別委員会において、令和2年度の補正予算で対応すると答弁だったので改めて確認する。

答 頑張っていくたい。

会計年度任用職員制度について

問 制度導入に伴い、今までの非常勤職員等143名が職員になることから、過去にあったような職員の不祥事が二度と起きないように公務員としての自覚が持てるような人事管理指導を。

答 町長 会計年度任用職員を含めた職員全体を対象とした研修を実施。職員の資質、職務遂行能力を高め、職場全体の底上げを図る。

問 土木施設等作業員については応募者がいなかったと聞く。

答 建設農林課長 今後、道路、水路の維持管理をどのように行っていくか検討中。

問 土木委員を中心に地域で、道路、水路、ため池等の草刈り、清掃、簡易修繕等の維持管理業務等を行っていた。今までのような納得できる維持管理はできるのか。

答 建設農林課長 作業箇所は広範囲であるため、同規模の

サービス提供は、難しい。

証明書等コンビニ交付サービスについて

問 総務省は、マイナンバーカードの多目的利用を推進している。コンビニ交付は県下27市町村中15市町が導入、町は平成30年から導入している。県内で一番小

さい町であり、利用率が1%前後である。導入時期が早すぎたのではないか。費用対効果も出ていないことから見直すべきではないか。

答 町長 費用対効果は今のところ出ていないが、マイナンバーカードのメリツトの一つであるコンビニ交付はこれから実施していきたい。



待望の整備工事が着手される日笠山団地交差点



大池地区付近

問	答
<p>町内生活道路への進入車両の実態調査は</p>	<p>現在情報解析を行っており、結果を踏まえ、検討する</p>



古田敬司 議員

問 昨年3月議会で生活道路への通過進入車両の実態把握をすべきとただし、当局から平成31年度で行うと答弁があったが、その分析結果は

答 町長 国土交通省が昨年12月、町内4ヶ所にETC 2.0車載機の走行履歴情報を収集できる装置を設置し、情報収集を行った。現在解析を

行っている途中だ。
答 建設農林課長 早ければ4月に国土交通省から解析結果の情報を提供をいただける。

その結果を踏まえ、どういう交通安全対策が必要か検討する。

まちづくり基盤整備を問う

問 小浜地区の蔵無償譲渡で譲渡元との間に制約条件はあったのか。

答 町長 条件は一切なかった。

問 以前調査した現

地調査と分析結果を踏まえて、利活用用途を改めて検討すべき。

答 町長 多世代の交流の場として多くの方に利用していただけの施設として整備したい。

答 まちづくり企画課長 全町的に公共公益施設の現状把握と今後の整備構想を把握する必要があるが、方針を見出せるまでは進んでいない。

地域包括ケア懇話会で踏み込んだ議論を

問 1月に認知症の高齢者が行方不明となったが情報収集、捜索活動で無事保護された。

一連の経過報告、検討課題が示されたが、検討事項に対し踏み込んだ整理がさ

れていない。

答 町長 初期対応時の公開可能なシート作成、SOSネットワークやGPS助成事業等の周知小地区ケア会議の開催、関係課間の連携強化の4点が挙げられた。

これらの内容について、現在地域包括支援センターで取り組んでいる。

要望 今回の事例を教訓として行政は大局的に隙間ない体制整備を進めていただきたい。

問 備蓄マスク・消毒用アルコールの活用はどのように

答 マスクを医院、歯科に配布、公共設備へ消毒薬を設置



根木 一 議員

問 新型コロナウイルスで、正確な情報の発信と提供について。

答 町長 ホームページに最新情報を掲載し、住民に注意喚起をしている。

問 防災用の備蓄マスク・消毒用アルコールの数と活用は。
答 町長 マスクは防災用3900枚、健康福祉課大人用2000枚、子供用1500枚。マスクを医院、歯科医院に配布。消毒薬は十数本で公共施設に設置している。

用水路転落防止対策

問 用水路の不安全箇所が見受けられるが、安全対策は。

答 町長 平成28年9月から令和元年12月の間に県で767件、町3件の転落事故があった。干拓地でありすべての水路に転落防止の対策は無理である。周辺に小さい子供が多い場所や通学路は、要望により転落防止柵を設置。

女性の健康力

問 女性特有の乳がんと子宮頸がんの検診受診率は何人でも何パーセントか。

答 町長 がん検診による早期発見、早期治療が可能となり、死亡者数を減少させるため、対象者全員に受診券を個別通知している。

乳がん、子宮がん検診は、土日やナイター検診で託児もしている。
国は乳がんは41歳子宮がんは21歳に無料クーポンを配布し

て検診受診の動機付けと促進をする。乳がん対象者84名受診者24名28.6%、子宮頸がん対象者61名受診者1名。

検診未受診者に対し、受診再勧奨をする。

介護費用の助成

問 認知症患者は、

高齢化社会となるので増加が見込まれる。その中で在宅で65歳以上の寝たきりや認知症の方等が紙おむ

つ・カバー等購入費の助成の考えは。

答 町長 在宅介護者を支援するため介護手当の支給を行っている。

問 介護手当支給条例では、病院等に継続して1カ月を越えて入院した者には支給しないと条件がある。緩和を考えられないか。

答 健康福祉課長 入所施設等に入らず家族で頑張つて介護をされる方に対しての支援である。



町内の用水路

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標 (SDGs) は世界を変えための17の目標がある。

問 所信表明で「Society 5.0」の社会的実現に向けた技術の活用など時代の潮流に対する観点の導入も必要と考えている。」と述べたが、スマート自治体の実現のため、AI(人工知能)、RP

活用は RPAやAIの

のクラウド化を要請している。本町でも、令和2年度中のクラウド化に向けて、取り組んでいる。

答 町長 現在、何をどの業務に使えば効率化につながるか、

問 SDGs (持続可能な社会) について問う
答 持続可能な社会づくりの担い手を養成する



佐藤智広 議員

A (ロボットによる代行・自動化) 等のICTをどのように活用していくつもりか。

問 AI、RPAの活用は大きな働き方改革となると思うが、

の分野で予算化を健闘実施している。特にESD(持続可能な開発のための教育)の推進を重点に、教育ビジョンのもと、持続可能な社会づくりの担い手養成に努めている。

SDGsに対する取組みについて

答 まちづくり企画課長 国はシステムの標準化、共同化がスマート自治体実現の後押しになるとして、住基システム(住民基本台帳システム)のクラウド化を要請している。

問 『SDGsアクションプラン2020』の中で、ビジネスとイノベーション、SDGsと連携する「Society 5.0」の推進と

いずれにしても、本町にとって何が必要なのか精査して、実施していきたい。

【Society 5.0】

平成27年の第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱。IoT(モノのインターネット)で、人とモノがつながり、様々な知識や情報を共有し、新たな価値を生み出すことで、課題や困難を克服しようとする取り組み。

問 新型コロナ、冷静な対応を

答 計画に則して対応する



真鍋和崇 議員

問 新型コロナ感染症。休校中の保護者相談窓口の周知を。

答 教育長 積極的に周知を図る。

問 本町で感染確認された際の対応は。科学的根拠に基づき冷静な対応を。

答 町長 計画により対策本部を立ち上げ保健所と連携する。

問 パニックが懸念される。職員の健康を守り、課を横断した人事体制を。

答 町長 計画で役割分担が位置づけられており則して実施する。

町長の政治姿勢を問う 4次総合計画・次期計画の策定

問 総合計画の策定

には主権者1町民が直接まちづくりに関わることが大切だ。

次期計画の策定のための審議会には女性の比率を高める努力を。

答 町長 色々な方の構成の中で委員の募集を行っていきたい。

問 女性比率を高める数値目標を示されたい。また次代を担う20代、30代の参画

も。

答 町長 色々な方にお願ひしたい。

問 所信表明では「既存事業の公益性

や利用頻度等の事業効果を再確認」「新規事業は優先順位、費用対効果を見きわ

め、限られた財源の有効活用に努め」とある。町長の考える事業効果とは何か。

答 町長 事業の優先順位、費用対効果は何を物差しに測っているか。

問 駅のパリアフ

リー化に着手する前に政策的事業を抜本的に見直し、場当たり的な予算査定では

なく、住民要求に基づいた、中・長期的な財政運営について見直しを。

答 町長 財政計画の中で毎年精査を行っている。

学校諸経費の公会計化を

問 保護者と学校現場の負担軽減のため、

小・中学校の給食費等の諸経費の公会計化を。

答 教育長 令和2年度から具体的に検討を進め、4年度ぐらいには実施を考

える。

その他の質問

◆子ども議会で見守る児童の提案の実現を

◆ゆるびの舎の清掃管理委託料について



バリアフリー化の前に政策事業、財政運営の見直しを



細田貴道議員

問 新たな産業基盤づくり、今後の農業振興はどのように考えているか

答 インター付近の数社の企業進出、農地集積、作物開発等、農業の最適な形をつくる



南から見た早島駅

問 今後どの程度の企業進出を想定しているか。企業からの問い合わせはどの程度あるのか。

答 町長 金田・下野地区で数社からの問い合わせがある。全て開発されるとインター付近の市街化調整区域にはまともった土地はなくなる。

問 今後農業の振興

をどう考えるか。

答 町長 農協との協議、農地中間管理機構などを利用し、農業者の意見を聞き、農地の集積、新たな作物の開発等、農地を荒らさぬよう最適な形をつくる。

安心安全な町づくりについて

問 弁財天地内に大川樋門が完成したが水害時の具体的効果は。

答 建設農林課長 平成23年9月の台風の雨水解析により樋門設置後の浸水被害の軽減水位は20〜30cmの見込み。

マリンライナーの増便について

問 3月14日からのダイヤ改正により快速・普通計6往復が

増便されるが早島には1便も停車しない。事前に情報を入手し、JRと交渉すべき。

答 町長 情報はなかった。特に今回交渉はしていない。JR側の事情もある。

今後早島に停車してもらうためにも、駅のリニューアルや、駅・役場周辺の市街化編入による乗降客の増加を目指す。

景観計画及び景観条例の見直しについて

問 駅の改修のみが先行し、まちづくりの全体計画が見えない。景観計画、景観条例の見直し、都市構造再編計画の進捗と今後の見通しは。

答 総合政策監 完成した素案をもとに4月27日に景観審議会。5月にパブコメ

と原案の縦覧。6月に公聴会、7月に景観審議会、都市計画審議会を実施。8月に景観計画を決定し、9月に変更景観計画の告示、施行の予定。

答 建設農林課長 素案による早島町と

県との協議が終了し、現在県と農政局との協議中。県南広域の他の市町が行っている立地適正化計画と合わせての協議となるので、スケジュールについては未定。

その他の質問

◆新型コロナウイルス感染症対策、義務教育学校、まちづくり基盤整備、JR早島駅の整備構想と駅前開発、財政見通し明確化の必要性、近隣都市との交通の地域間連携について

問 無津交差点の朝・夕の渋滞解消に向けての考えは

答 新任の副町長と、ともに要望していく



平岡 守 議員

問 近年、無津交差点では激しい渋滞が発生し、住民生活に影響があり早急な対策が望まれている。この交差点北は右折ラインが少なく、直進・左折車両が右折車にはばまれ、渋滞を引き起こしている。以前からこの県道については度々渋滞の解消を要望しているが、町長の対策に向けての姿勢を期待する。

答 町長 渋滞対策を早急に考え、右折車線の滞留長の延伸を含め対策について要望書を提出した。その要望書は私が渋滞の写真を撮り、担当課に県への提出を依頼した。のちに私も県に出向き要望している。4月から備中県民局長を歴任した副町長が就任されることから、さらに県とのパイプを太く、しっかりと実現に向けて頂きたい。

問 2年度に事業化の認知症関係の事業について

答 町長 認知症高齢者等見守りSOS ネットワーク登録者を被保険者として町が保険契約者となる。本人またはご家族が法律上の賠償責任を負った際に保証する事故救済制度。個人賠償責任保険1億円、死亡後遺症障害保険金額50万円の保険に

加入を予定している。

答 健康福祉課長 他人に被害等が及んだ場合の損害賠償請求を保険で賄うことが基本。SOSネットワークに加入している人は現在14人。

問 無料診察券制度について

答 町長 対象者は町に住民登録がある65歳以上の方で物忘れ相談プログラムを活用し、認知症の疑いの有無の判定後、受診クーポン券(仮称)で専門医療機関にて検査を受けていただき診断を行う。その際の自己負担額は実施医療機関へ町より直接支払うこととしている。

答 健康福祉課長 現在考えている医療機関は南岡山医療センター。



渋滞している県道吉備線



佐藤辰美 議員

問 議会における言論の「品位」及び「丁寧」な答弁について(地自法132条)質問した。

答 答弁は地方公務員法及び地方自治法の遵守を徹底し、「品位」と「丁寧」さに今後努める。

公会計制度の導入について(習志野市の導入例を参考に)

問 平成27年1月(総財務第15号)による総務大臣より正式通達に対する、発生主義・複式簿記の導入について早島町の実施状況を問う。

答 町長 本町も発生主義、複式簿記を導入した統一的な基

準による財務諸表の作成に取り組み、平成28年度に固定資産台帳の整備を完了した、減価償却を用いた、老朽化の把握、老朽化率から将来の修繕費の予測、事業等に対するコスト意識などに活用できるので職員に周知を今後行う。

問 資産の適正な管理としての台帳の整

備計画はあるか。

答 町長 水道事業会計については複式簿記で実施しているが、下水道事業については3年後をメドに実施予定である。

防災対策について

問 拡声器による放送が聞こえない原因調査として3グループに分けて放送をお

こなつてはどうか。

答 町長 防災行政無線のグループ分けは職員が手動にて操作するしかなく不可能である。

問 防災行政無線に費やした予算の全額はいくらか。

答 町長 当初契約では2億1816万円変更契約で2億1895万円(変更契約、約79万円)工事監理委託料は413万円である。

問 事後の評価は実施したのか。

答 町長 完成時の評価はおこなっているが、事後評価は行っていない。

問 事後評価の必要性、仕様及び設計時の問題点をキチンと把握することについての見解はいかがか。

GIGAスクールについて文科省の構想によること

問 利活用の成果についてPDCAサイクル等の徹底について。

答 教育長 ICT活用計画についてはPDCAサイクルをまわして改善を図る。

問 多様な子供さんたちを「誰一人」取り残すことのない学校現場を実現させるための具体策はあるか。例えば社会・理科・道徳等。

答 教育長 ICTを活用した授業づくりでは全教科、全学年で道徳とかテレビ番組等も活用する。

る職員の丁寧な発言を求める。

答 町長 地方公務員法第32条(法令・条例・規則及び上司の命令に従う義務、33条には、その職の信用失墜行為の禁止等)の遵守の徹底をする。

問 執行機関側の答弁は丁寧に行うことを求める、最高責任者としての見解を問う。

答 町長 職員全体に公務員の基本は法令・条例遵守であることを私も含め勉強につとめる所存。

議会における言論の品位「地方自治法第132条」

問 議会答弁におけ

町民の皆様からのお便り

◆新型コロナに負けるな

東京に住む長女が、8月に三人目を出産予定だ。

4歳と2歳の遊び盛りの子どもたちの面倒をみてやるため?!何とかが都合をつけGWに、妻と一緒に長期上京する予定だった。ところが何とこの『コロナ騒動』。

3月に入ったばかりの頃は何とかなるだろうと、たかをくくっていたが、日を追うごとに事態は大きくなるばかり。月が替わってか



『安寧』という言葉がしみじみと身にしみる。

らは更に拍車をかけた。

東京は連日のように感染者数の記録更新。とうとう4月7日には、政府から新型コロナウイルス対策の特措法に基づく『緊急事態宣言』を東京都を含む7都府県を対象に発令。東京都では拡大防止に向けて外出自粛。密閉・密集・密接の3つの『密』を避ける行動の要請。まさに事態は切迫状況。

イタリアやイギリスのように、違反者には罰金や罰則が科される厳しい外出禁止『ロックダウン』ではないにしろ、いろんな意味で、東京都民が『陸の孤島』に軟禁状態。ホントにえらいことだ。

おチビさんの幼稚園再開もGW明けの予定だが、これも状況によれば、先送りされることも。

最近では『コロナストレス』という言葉も現れるようになったが、娘や孫たちに不安やストレスが貯まらないことを願うだけだ。

専門家の試算では、人と人の接触機会を8割削減できれば新規感染者数は頭打ちになり、2週間後には減少に転じるとされるらしいが、出口はまだ見えない。

常にポジティブな気持ちで

クイーンのギターリスト、ブライン・メイは新型コロナウイルスについて次のように語っている「確かにこれは悲劇だ。ただ、感謝するべきこともある。大勢の人が苦境に立たされて、多くの人を失うだろう。だけど、悪いことばかりじゃない。必ず楽しみにしておくべき良いことがある。だってこの苦境は今だけだから」と。

我々もポジティブな気持ちを持って、この人類の敵に立ち向かっていかねばならない。

【往年のQUEENファン】

投稿募集

議会広報特別委員会では、皆さんが撮影した写真やコメントの投稿を募集しています。(表紙の写真も募集しています。)

▼応募規定

- ①町内で撮影された写真
- ②サイズは、カラープリントの場合11Lサイズ以上、デジタルデータの場合11ファイナルサイズ5MB以下(表紙の写真の場合は1200万画素以上)
- ③未発表のもの

▼応募方法

- ①作品(1人1点)には左記の事項をご記入ください。
住所・氏名・作品のタイトル、コメント(50字以内)
- ②郵送の場合は、返却希望の有無もご記入ください。
デジタルデータの場合は、メールに添付の上お送りください。

▼その他

- ①議会だより掲載時には、作品のタイトル、住所(町名まで)、作者名を掲載させていただきます。
- ②人物が特定できる場合または個人の所有物である場合は、必ずご本人の承諾を得てください。(肖像権や著作権に関して、一切の責任を負いかねます。)
- ③採用された作品の使用権は、早島町議会広報特別委員会に帰属します。
また、使用に当たり加工させていただきます場合もありますので、ご了承ください。
また記念品等はありませんので御了承ください。

応募先・早島町前潟360の1

早島町議会事務局 議会広報宛

gikai@city.hayashima.lg.jp

議会モニター大募集!!

早島町議会では町民の皆さんからの要望や提言、その他の意見を広く聴取し、町議会の運営等に反映させ、町議会の円滑かつ民主的な運営を推進することを目的に議会モニターを募集しています。

◆応募資格

- ①年齢満18歳以上の町民（または町内で働いている人）
- ②公務員、各種議会議員又は各種行政委員でないこと。ただし議長が認める場合においてはこの限りではない。



◆業務内容

- ①議会を傍聴しての意見を述べること
- ②「早島町議会だより」及び「早島町議会ホームページ」に関する意見を文書により提出すること。
- ③議長が依頼した町議会の運営に関する調査事項に回答すること。
- ④町議会と意見交換を行うこと。（定例議会ごとのモニター会議の開催を予定）
- ⑤その他議長が必要と認めたこと。

◆任期

令和2年9月～令和4年8月末まで。

◆定員

15名以内

◆報酬

原則無報酬とさせていただきます。

◆応募方法

所定の申し込み用紙にご記入いただき、議員もしくは議会事務局にご提出ください。（議会ホームページから所定の募集用紙のダウンロードが可能です）

◆その他

応募者多数の場合は書類にて、居住地、年齢、性別等に著しい偏りが生じないよう、議長が選考させていただきます。その他、必要な事項は「早島町議会モニター設置要綱」にて定めますのでご参照ください。

【お問い合わせ】

早島町役場議会事務局
http://www.town.hayashima.lg.jp/chogikai/gikai_testers.html

【議会モニター募集ページ】



編集後記

4月の現時点では、新型コロナウイルスの流行で緊急事態宣言が発表され、町内での感染者も確認されています。

日本赤十字社は「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！負のスパイラルを断ち切りために」で次の通り指摘している。

3つの感染症、病気そのもの、不安と恐れ、嫌悪・偏見・差別、はつながっている。そして、2点目の「不安と恐れ」は一人一人が「気づく力」「聴く力」「自分を支える力」を弱めます。瞬く間に人から人へ伝染して判断を狂わせ、生きる気力も奪います。

感染した人が悪いのではなく、『ウイルス』自体が『悪』であるということを前提に、皆さんは、冷静に対応をしてください。

この広報誌が発行される時点で、新型コロナウイルスが早急に終息していることを祈っています。

議会広報特別委員会